

## 令和6年度みんなで支える森林づくり南信州地域会議 会議録

日 時 令和6年11月6日（水）15時00分～16時05分

出席者 別紙出席者名簿のとおり

### 会議録

#### 【あいさつ（岩下地域振興局長）】

南信州地域振興局長の岩下でございます。

本日はお忙しい中、地域会議にお集まりいただき、ありがとうございます。

皆さまには、県の森林、林業行政にそれぞれのお立場からご協力、ご支援をいただいておりますことに、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

本日の議題ですが、県の森林づくり県民税の関係となります。森林づくり県民税につきましては、森林づくりを進めていく、支える仕組みとして、平成20年度から導入させていただいております。5年毎の課税期間を設けましてそれを財源として、様々な事業に活用させていただいております。

直近では令和4年度に新たな「長野県森林づくり指針」を策定しまして、令和5年度から9年度までを第4期といたしまして、森林の若返り、或いは、森林整備を支える担い手の確保・育成といった取組みを強化する事業を行っております。

具体的には、木材生産を進めるために間伐から主伐・再造林を加速させるような施策、或いは県外から移住して、林業に就業する新規学卒者向けの補助制度を拡充するなど取組み等を行っておりまして、先ほど皆様にも見ていただきました現地もその取組みの一つで、森林づくり県民税を活用しながら、苗木や資材を運搬する架線の設置などの費用に対して支援を行っております。

本日は私どもから森林づくり県民税を活用した事業につきまして、令和5年度の実績、加えて今年度の取組を中心に説明をさせていただきます。

皆様からは先ほど見ていただいた現地も含めまして、様々なご意見を頂戴したいと思っております。頂戴した意見につきましては、本庁とも共有しながら、県民会議にも反映させていきたいと思っております。時間は限られておりますが、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。本日はよろしく申し上げます。

#### 【自己紹介（渋谷構成員）】

阿智村戸沢地区で里山整備利用推進協議会の組合長をしております渋谷と申します。

本業で魚の養殖をしながら、お店を経営しております。

#### 【澤柳構成員】

飯伊木材協同組合の理事長をしております沢柳と申します。会社は上郷木材と申しまして、製材業と建設業をしております。

#### 【太田構成員】

飯伊森林組合の太田と申します。個人としては里山整備協議会の会長でもありますが、

本日は飯伊森林組合の立場で参加しております。

**【伊藤構成員】**

社会福祉法人 萱垣会（かやがきかい）の総務課長を務めております伊藤と申します。法人の事業としては、保育事業や高齢者介護等を中心に行っている社会福祉法人でございます。

**【丸山構成員】**

一般社団法人ソーシャルデザインプロジェクト 丘のりんごの代表の丸山と申します。法人の活動としては現在、障がい児支援をしておりますが、今後は林福連携や、障がい者福祉就労に関しての活動へ重きを置いていきたいと考えております。

**【前田構成員】**

根羽村役場振興課長の前田と申します。今日は最南端の根羽村へお越しいただきありがとうございます。根羽村は92%が山林で、先ほども見ていただいたとおり、林業が盛んな村でございます。こうした取り組みを一生懸命行っておりますので、機会がありましたら、また、お越しいただきたいと思っております。

**【星野構成員】**

星野と申します。松川町で森林セラピーを本業としている傍ら、町議会議員を務めております。本日は観光の立場で林業との関わりなど色々お話できたらと思っております。

**【議事（前田構成員／座長）】**

座長に選出されました根羽村振興課長の前田です。会議が円滑に進みますよう、皆様のご協力をよろしくお願ひします。それでは会議事項に入ります。

最初に会議事項(1)から(2)まで地域振興局から説明いただいた後に質疑・意見交換を行いたいと思ひます。

それでは会議事項(1)長野県森林づくり指針および(2)県民税の活用事業について、一括して説明をお願ひします。

**【地域振興局】**

会議事項(1)について、業務概要により木次林務課長説明

会議事項(2)について、資料1により保科企画幹説明

**【座長】**

それでは質疑意見交換に入りたいと思ひます。説明のあった資料および先ほど現地視察をしていただいた感想なども含めまして、皆さんから質疑やご意見をお願ひしたいと思ひますので、挙手の上、発言をお願ひします。

**【太田構成員】**

資料1の防災・減災のための里山整備についての要望です。今年度は国庫補助の「信州の森林づくり事業」の補助が少なく、特に、民有林の森林整備の実施に影響が出ています。国の補助金が減ってしまったため、県独自の森林税を財源とした事業を他事業に補填する等、対応の検討をしていただきたい。

また、組合で補助金を要望したが、補助要件に合致せず実施できなかった箇所もある。

せっかくの県独自事業なので、補助要件を実情に即した形で見直して、使い勝手の良い補助金にしていただきたい。

先ほど視察も行ったが、再造林加速化の関係について、今年から新規事業で「再造林省力化モデル推進事業」が始まり、組合でも活用しているが、皆伐は国からの補助金を用意されてない中、架線の設置や撤去にかかる費用を県独自で補助をしていただき大変、助かっております。

資料のとおり長野県の森林面積は全国で3位ですが、木材生産量は、確か13位～14位だと思います。長野県は地形が急峻である等、木材生産の条件的にかなり不利だということが考えられますが、県の素材木が他県の材木に市場で負けないために、こうした県独自で他県に対抗できる施策に今後も取り組んでいただきたい。

**【木次林務課長】**

防災・減災の予算を不足分に充てる要望については、私どもも何とかしたいと考えております。過去に補助金を交付した箇所が再度対象にならないかとの趣旨でよろしいか。

**【太田構成員】**

対象となるには、里山整備方針を作成しないといけないが、そこから外れているところも含めるような、森林税の対象エリアを広げる、また、例えば、20年前に実施したところは対象外となるため、今、実施しようとしても、歯抜け状態となってしまう、一体的で効率的な施業が出来ない。そういった点をご配意願いたい。

**【木次林務課長】**

難しい部分もあるかもしれないが、要望があった内容は県庁担当課へ伝えさせていただきます。

**【伊藤構成員】**

当法人は、保育園や特別養護老人ホームを運営しています。高森町の保育園1園、飯田市の保育園1園（建設中）は、両方とも木材を中心にした建物で、県産材を多く使っている。根羽産材も使っており、子どもたちは木を使った建物を喜んでいると聞いているので、子ども達にとっても良いことだと思っています。

当法人は「信州やまほいく」認定団体として、運営する3つの保育園のうち2園が認定を受けている。そういう点でも非常に身近な事業だと感じています。

今日の会議を通じて木の良さを再認識することも出来ました。子ども達にもこうした木材に触れる機会があれば教育上も良いため、法人としてもまた検討をしていきたい。

**【木次林務課長】**

対象となりそうな事業については、是非またご相談していただきたい。

**【澤柳構成員】**

当社は、普段、製材業を営んでおり、丸太を市場から仕入れて製材しているが、その丸太がどのように出てきて、どういうところで生産されているのか、あまり見に行く機会がないため、今回の機会は大変、有り難かった。

国道から少し入ったところのすぐに現場があるのは地理的にも素晴らしいと思ったが、そういう場所だけではなく、飯伊森林組合のエリアでも一步入れればかなり急なところもある。架線についてもこれからどんどん張れるのか分からないが、そうしたところにしてしっかり予算を付けていることが分かって良かった。

また、現場への行き帰りの中で食害防除の木が見受けられたが、根羽村で今年度実施している「シカ捕獲サポート事業」について、状況をお聞きしたい。

#### 【前田構成員】【座長】

根羽村の「シカ捕獲サポート事業」は、村が根羽村森林組合と連携し、造林地の苗木をニホンジカ等の食害から守るため、森林組合の職員が見守る事業です。

この事業では、講師は主に猟友会の方が担っており、罠をかけた後どのように見回したらよいか、例えば、遠くから見て網は確認して欲しいといったこととなります。

根羽村の場合、植えた後、単木保育だけではシカがめくって食べてしまうので、全体をネットで囲って、尚且つ、そこにシカが進入しないように、こうした罠をかけながら、新たな再造林を進めていく事業になります。

#### 【渋谷構成員】

過去に森林組合で声をかけていただき、根羽村で作業路の作り方の講習会に参加した。その時に、四万十方式作業路の技術を講師から学んだことで、それから作業路を何本か作った経験がある。現在、自分が四万十方式で作ったところは、路肩の強い崩れない形で出来ているのではないかと実感している。

私が住む戸沢地区は地理的に、抜け道のないようなところであるが、道路際の樹木が大木化し、多くの枝葉が落ちるなど障害木が多くなってきた。こうした支障木を伐採してきた訳だが、手が届かないものや、地主が地元にはいない等、色々な問題が生じてきて、なかなか針葉樹であっても伐採出来ない状況があります。

最近、一番困っているのがナラ枯れです。ナラ枯れも当地区では4、5年前から始まっており、その木が予想以上に早い段階で枯れて落ちてくる状況にあります。更に怖いのは、その上にはまだ大木が沢山あり、いつ落ちるとも分からない木が立っている状況であります。そうした道路環境も含めまして、地域振興局に相談したこともありますが、生活に密接に関わる部分ですので、県民づくり森林税を活用するなど、地元と相談した上で、今後は支援をしていただいたら良いと思います。

また、この里山整備協議会について、今まではしっかりとした目的のもとで運営されてきましたが、協議会を今後どのように進めていくのか、地域振興局にお聞きしたい。

#### 【保科企画幹】

戸沢地区は、私が以前、この地に勤務していた頃からナラが枯れ始めて、既に道路際の大きい木が茶色に変色していました。昼神から登る沿線は道路際に木が迫っており、見た目だけではなく、ご意見のとおり不安なところもあると思います。

ライフライン沿いで対応できる部分については、市町村事業が活用出来るかということから検討が始まりますが、更にそれより上の木についても、不安なところも何とか

対応しなければと思っています。

ナラ枯れだと太くなる前に切って使ってしまうのが一番有効ですが、そうではなく、太くなった木をどうするかということは課題と思います。まずは本庁に意見を伝えるところから始めていきたい。

また、協議会については、地域の皆様に頑張ってもらっていて、これだけの活動団体があります。当面の目標が終わった後の第2、第3段階をどう進めて行くのか、その地域によって事情が異なりますので、各市町村の普及指導に関わる皆さんともご相談いただく中で一緒に考えていきたいと思っています。

#### 【星野構成員】

「森林サービス産業活動支援事業」について、松川町の森林セラピー基地として、およりの森のバイオトイレの設置事業に補助をしていただき感謝申し上げます。

観光分野で森に関わる中で、およりの森で森に関わるイベントを企画し、子ども達や障がい者、高齢者等、様々な人々を森にお連れすることがあるが、思ったより本当に多くの方が来られます。

特に子ども達は普段、テレビゲームをしているので、あまり森に来る機会はないかと思いますが、木工体験など声をかけると本当に沢山来てくれます。私達が考える以上に、子ども達や一般の人々は森や自然にすごく興味があると実感しております。

私は生田地区の山の中に引っ越しましたが、高齢化が進んでいます。若い人は、なかなか森に暮らすには声をかけないと来てくれない状況があります。

森と人、木と人といったところに関わるが、なかなか難しいところがあると感じています。これから若い方達が森に関わる場所として、普及活動、広報やイベントなど、裾野を広げる活動も必要と思っている。そうした取組みがあればお聞かせいただきたい。

#### 【保科企画幹】

広報以前に、人とどのように関わるか、そういう機会どう作っていくかということは未開拓の部分だと思います。この部分にこれから県としても取組むに当たって、概要(P14)に記載のある「森林サービス産業など森林の多面的な利用の支援」が、場づくりとして、我々も取組まなければならないことと考えています。この中に森林サービス産業補助金も含まれているので、まさに我々もこれからチャレンジをしようとしているところ。

こうしたご意見をこれからもいただけると、取組みや思いを具体的に実行に移して行くことが出来るので、暗中模索の部分もありますが、色々な機会でご意見をいただくと大変有難い。

#### 【丸山構成員】

本日初めて参加した。福祉分野は林業と全く違う分野ではあるが、林業の一番元のところから見せていただき、参考になりました。山から里、里から私達の生活している場面があり、その暮らし、暮らしの一番末端のところに障がいのある方たちが生活をしている。自分達がどのような関わりを持ち、森林に繋がっていくことが出来るだろうか考えながら聞かせていただいた。

自分たちが出来るところをコツコツとやることが大きなものに繋がっていくだろうと胸に手を当てながら考えていたところです。具体的には、先ほどの森林サービス産業の多面的な取組みの説明の中で、“チャレンジ”と言うのはすごく良い言葉だと思う。私達の障がい児者が社会参加できるように、山や森、木を通して、何か関わっていくことができるように支援したい。

間伐材や林地の残材を活用した障がい者就労を、先ほどの林業と福祉の連携の中で考えているところ。まだ構想段階ではありますが、まずは地域の方々も巻き込みながら、特に元気な高齢者の方達、山は本当に厳しくて危険というところ、大変なお仕事になりますが、地域を巻き込んで、何か私達も小さな力ではあるが、1人、2人、3人とまた繋がっていくと、それが大きな力として発揮出来たらと思います。

障がい者就労へ関わることを南信州地域から先駆けて取組んでいただけたら素晴らしいと思います。一緒に活動をしていきたい。

#### 【保科企画幹】

丘のりんごの取組を地域の方にも声かけをしながらご紹介する機会を狙っているので、少しずつ取組みを一緒に出来れば良いと考えています。そうした形で、皆様が生き生きと出来る機会が少しずつ輪になって広がっていくと良いと思いますので、是非そういう意味でも、これからもよろしくお願ひしたい。

#### 【座長】

他にご意見等はありませんか。

特にご意見もないようですので、質疑・意見交換を閉じたいと思います。地域振興局におかれましては、本日のご意見等を森林づくり県民税の事業執行や、森林・林業の取組に活かしていただきますようお願い申し上げます。

以上で会議事項は終了しましたので座長を退任したいと思います。ご協力ありがとうございました。

#### 【閉会あいさつ（木次課長）】

本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、また、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

いただいたご意見につきましては、県庁で主催する県民会議へ繋いでまいりますので、引き続き、ご協力をお願いします。本日は、ありがとうございました。

(終わり)